

私が幼稚園の子どもだつた時

將來幼稚園の先生にならうとしてその修業に志した若い人達が、自分等の幼稚園生活を思ひ出して見たのも面白い。順不同(編輯部)

兄や姉の例にならつて、私も幼稚園に入園することになつた。其の幼稚園はI・Fさいふアメリカ人のキリスト教の幼稚園で靜かな屋敷町にあつた。

この頃、S子ちやんと言ふ女の子に紹介された。S子ちやんは私の家の前の子で私と一緒に幼稚園に通ふことになつたのでさうな。女中ミばかり遊んでゐてついぞ友達を知らなかつた私は、この時初めてS子ちやんを知つた。家から幼稚園まで大人の足で約十五分、今から考へるまゝ道草を食ひくゞ歩つたのだらうと思はれるが、F子さんF子さんと泣きながらくつついて來るS子ちやんをひつばつて一生懸命に通つた。

家では弱蟲の泣ん坊であつた私も、外では案外強氣であつたらしくS子ちやんの家の人達にも相當信用があつた。F子さんがあゝするからこうするからと何事も私のまねをするのだつた。幼稚園に通ひ初めた頃だつたと思ふ。キリ

スト教の幼稚園なので土曜日は休日にして、日曜に日曜學校があるのだが家の者が休みだと言ふのを、先生はおつしやらなかつたと言ひはつてS子ちやんの家を訪ねた。S子ちやんの家でも不思議がつてゐるたがF子さんの言ふことだからさいふので、おばあさんがつきそつて出掛けだが幼稚園の門は固く閉されてゐた。その間の悪さ、今考へて見ても笑ひ出したくなる。

日曜日は朝九時より大勢の大人や女學生達(I・F氏はクリシチャン女學校も經營してゐた)と共に教會に集りお祈りをし牧師さんのお話をうかゞひ讚美歌を歌ひ後園兒は別室にて先生からイエス様のお話をうかゞつたりして美しいカードをいたゞいて歸るのである。

園兒ははつきり覺えてゐないが多分三十人位だつたと思ふ。廣い石疊の部屋にぐるつミ椅子を輪に並べて、そこが遊戯室兼遊び室であつた。

S子さんかぎうしても離れるのは嫌だと言つたので私はS子さんと並んで腰かけた。

先づ最初に順々にスキップをさせられた。私はかねて兄

や姉に教へられて知つてゐるので安心してゐるが、いよいよ自分の番になつた時、ひよいと忘れて了つた。一足行つて考へ一足行つては考へびよんびよん鬼の様に飛上つて見たりしてやつと思ひついた。それからはずら／＼するこゝが出来た。先生が一番上手だ賞めて下さつたので、私は内心大いに得意だつた。それから私のスキップがお手本にされるやうになつた。先づ私を一番先にさせそれから順々にさせるのだ。

始業時間は九時であつたかと思ふ。

嫁婦は二人それに牧師の奥さん。

園児が揃ふと朝のお祈をする。先生が「今日も一日楽しく元氣に遊ばせて下さいまし」といふやうな意味のお祈をなさるのを、椅子に掛けて手をくみ目をつぶつてぢつと聞いてゐるのである。ヨシヒロさんか、いふいたづらつ子があるた、お祈りの時いつも目を開いて、じろ／＼眺めまはしては「アッ誰々さんは目を開いてるよ」と報告するのだつた。

先生はお笑ひになつて「それを見た貴方のお目々はさうでした」とおつしやるのだつた。此の間海軍記念日の黙想の時アキラちゃんや「ジョウジさんは目を開いてますよ」と言つたのでそれを思ひ出してほゝえましく思つた。

お祈りが齊んだ頃、園長さんのFさん或は副園長のミセスFがゐらつしやる。子供達は「グットモーニング」一齊

に叫ぶ、又お歸りになる時は「グットバイ」と叫ぶ、それからお遊びやらお遊戯やらをする。

お遊びは室内にしては積木・なはミび・鬼ごっこ・かくれんぼ等積木は大きな物ばかりであつた。冬はストーブを圍んで先生のお話をうかつたりあやこりをしたり。

お天氣のよい日は庭に出て遊ぶ。あまり廣い庭ではないがブランコ・スベリ臺・シーソー・砂場等一通はそなへてあつたやうだ。庭は竹藪に續いてゐて、春になるまで竹の子がもくもく黒土を持ち上げて來るのを興味深く眺めたものだ。竹藪に入つては、そこらに群り生えてゐるくんしやう草を取つてくんしやうにしたり、小さな竹の子や、月見草の黄色な花を見つけてはそれを大事に取つてお土産にしたり、自然の興味はなかく盡きない。

砂遊び　やはりお杓子やお椀が具へてあつた。トンネル・コビトの家等が好んで造られた。小人の家はお話で聞いた小人の世界を想像して色々造つて見るのである。私等も自分の家の庭の大きなねむの木の下に植木の混んだあたりに、小人が住んでゐるものと思つて、弟二人で砂で家をつくり、翌朝早くそつと足音をしのばせて小人は來てゐないか、小人の足跡はないか見にゆくのだつた。

手工　學敷の一室の大きなテーブルを圍んで切紙・折紙・圖畫・粘土等をする。折紙は帆かけ船、やつこさん等の簡單

なものの、豆細工はしたやうな氣もするが、或はしなかつたかも知れない。

お食事 子供の楽しみの一つであるお食事も、その室ですることになつてゐた。

午後 お歸りの前には今日一日を無事に過すことの出来たさいふこを感謝するお祈りを捧げる。

クリスマス 楽しいクリスマスがやつて来る。クリスマスツリーを圍んで楽しくお話を聞いたり遊んだりして夜はクリスマス藝藝會が開かれる。一日を楽しく過してお人形やらお菓子やら澤山のプレゼントを戴いて歸るのだつた。

かうした楽しい世界にも悲しみがやつて来た。

それはミセス・Fが重病にかゝられたことである。私達はFさんの顔を描いて病院に送ることにした。でも其の繪を見ない中に亡くなられたこのことであつた。教會で告別式が行はれた。花に埋もれたFさんの遺骸の前で女學生達はみな泣いてゐた。私達は胸につけた黒い喪章が嬉しくて、泣いてゐる大人達の顔をきよさんと眺めてゐたものだ。

その中に卒業の日も近づいて来た。

卒業の日には、お遊戯をしたりしてから、卒業式をし、お免状を持つて記念撮影をした。こんなことであつたかと思ふ。これが私の幼稚園であつた。

私はピアノが弾きたいな

幼稚園の先生は弾いてゐる

毎日々々弾いてゐる

二番は忘れたがなんでも大きくなつたら幼稚園の先生になりたいさいふ意味のものだつた。私はこの歌を好んで歌つた。そして幼稚園の先生になりたいと思つてゐた。如何なる神の攝理か、私は今保育實習科に来てゐる。

「小さい時言つた事がさうく本當になつたね」

ミ家の者は笑つた。

しかし私は眞面目である、有用なる保姆にならうと努力してゐるつもりである。

A 子

今度保育實習科に入つて、子供に對してゐるを、嘗つては、自分がさんぐ遊んだ幼稚園の事が思ひ出されて懐しい。かう言ふと随分思ひ出がありさうだが、そんなにおぼえては居ないのである。

丁度私はあの頃田園調布に住んでゐた。其の頃の私は今とは全く反對に内氣な社交性のないやうな子供であつた。両親は近くに幼稚園が設立されたのを幸に、私を入れてしまつた。その幼稚園こそは、K氏のT高等女學校の附屬幼稚園である。

其の時の氣持は餘りよく覚えてゐないが、何しろ今迄、家にじつこしてゐた子供が急に幼稚園さいふ所へ放り出さ

れたのだから、之は田舎娘が都會に出て来たような恥づかしいような嬉しいような悲しいような氣持であつたらう、幼稚園が出来て最初の園児なのであるから勿論園児の人数は十二人であり、私と同年齢の子が七人あり後は皆年下であつた。七人の中でも女が三人男が四人であつて、女の子は良いにしても男の子と遊ぶ事は始めてなので随分色々泣かされたらしい。

何しろ泣きながら女中と幼稚園の門をくぐり、一旦先生の側へ来るまで泣き止むらしいが又お遊びになるまで男の子に色々されて直ぐ泣き出してしまふような子であつた。私は幼稚園生活が楽しかつたであらうか。それはわからない。餘り泣くので女中迄一緒になつて泣き出した事もあつたさうだ。今思ふと恥づかしい氣がする。幼稚園へ行くまで、先づ最初にオルガンに合わせて結んで開いて手を打つて……云々さいふのを何回もやりそれからお部屋に入り細工的な事をやらされたらしい。

特に幼稚園でやつたものを今のぞいてみるに折紙や細い紙で作つたもの等が多い。他に豆細工等はおそらくやつたであらう。お遊びの時はお砂遊びおすべり、ブランコ等でジャンダル等さいふ氣のきいたものはないのである。此のお遊びの時は私いつも男の子に泣かされては、其の時の一番若い嫁さんたる先生にすがりついて涙をぼろ／＼出し

てゐた。お遊戯はみんな事をやつたかそれは覚えてゐないが、それをやる事は好きらしかつた。

そして私は七ヶ月で幼稚園を卒業したが、卒業する前に〇の附屬小學校を受けた所入つた。T先生は勿論有名な園長としてのH先生も、

「こんな泣き蟲のJ子ちゃんが通へるかしら。心配だ、心配だ」を喜んで下さりながら心配さうに仰言つたらしい。しかし幼い頃之程にも泣いた私が現在の様になつたさいふ事は實に不思議のような氣がする。

しかし泣き通した幼稚園に、たつた一つ大きな喜びがあつた。之は三つ年下のベヤちゃんさいふ子がゐるが此の人がとても私と仲良しであつた。此の人と遊ぶ時が一番泣かなかつたらしい。此のベヤちゃんの思ひ出は、泣いたあの幼稚園での思ひ出の中で一番なつかしい。女學校三年だかの時に三月も終らうとする頃八年振りかでJの幼稚園を訪れた。丁度その日は幼稚園の何回目かの卒業式であつた。勿論子供の数は随分ゐた。H先生は私を見てびつくりなさりながら、いかにも嬉しさうに、その日、幼稚園を出ようとする可愛い／＼子供達に向つて、

「此の方はこの幼稚園の最初の卒業生よ、良いお姉ちゃんまでせう」

と仰言つたが、かつては涙をぼろ／＼出して通つた幼稚園

だ。たまらなく恥づかしかった。

其の頃から子供達と對してゐる人は幸福さうだと思へながら此の保育實習科を希望した。そして今年三月保育實習科に入つた事を日先生に早速お知らせしたが、昔かつては泣いた幼稚園の嫁婦の卵にならうとは、驚いていらつしやつたが

「J子ちゃん、えらいわねえ、J子ちゃんしかりおやりなさいね」と、非常に喜んで下さつた。

B 子

私はT縣のI市(その當時は町)の幼稚園に就學前の一年間まいりました。

その當時の私は弱蟲の泣蟲だつたので思ひ出も楽しいことは思ひ出さず、泣いてゐたことばかり思ひ出して、その他に、した手技や遊戯等の思ひ出は少く又臚げですが思ひ出すまゝに筆をすゝめて参らうと思ひます。

幼稚園の前は墓地でしたので、朝姉につれられて行つてもなんだかお墓は恐いし、一人になるのがつらくていろく駄々をこねて姉を困らせました。近所から通ふお友達もなく初めの中病氣でしばらくやすんで居ましたのでお友達も出來ず、そんな風なので、お遊戯をしても、他のいろく、のこぎをしても上手でなく、外の子供が先生にぶらさがつたりしてさはいでも、私は傍觀してしまひにはかな

しくなつてメソソしてゐたことが多いやうでした。そんな時先生はかまつて下さらなかつたやうです。先生はどんな方だつたか忘れてしまひ印象もありません。お遊戯室でスキップを一人々々する時間は何だかいやでしないところが多く、皆の楽しさうに跳ね上るやうにスキップをしてゐるのを見てシクシクして居たことを思ひ出します。お遊戯は、赤、白、緑三組あつて組全部一緒にする事が多く、私の組一組だけが遊戯をする時にはちやんこしました。が、他の組と一緒に遊戯の時妙に怖氣づいて、メソソしたものです。

おすべり臺からおちて、先生も、皆も笑つたので大聲で泣き出した。落ちる恰好がおかしかつたのかもしれないが、あの時何故皆が笑ふのが不思議でしやうがなかつたかなほワア／＼泣いた。男子が負傷して、小學校の醫務室につれられて行くのを皆が門の外にさび出して見に行くので私も何事か見にいづたら、先生に門をしめられさうになつたので大急ぎで引きかへして來たら、門の外に出た子はいれませんがしめられてしまつた。外の子供達はワア／＼さはいでゐるのに私は一人氣をもんでさうかして開けやうとしたが先生は押へていてあけて下さらないので泣き出した。門からしか入れないと思つていたら外の子はしめ出されたのを知つて、垣根をもぐり込むので私も眞似を

して、やうやう入つたやうに記憶して居ります。雨の降つた日にお迎へがなかく来ず、他に二、三人お迎への來ない子が居たが、その子達は一寸も心配しないで遊びまはつてゐるのに私は心配でメソメソ泣いて先生を困らせました。

こんな風に幼稚園に行つてゐた頃の私はいぢけてゐて樂しかつたことより悲しかつたことを思ひ出します。

今此の幼稚園でしてゐるやうなハリ紙はしなかつた様に思ひます。折紙をしたり豆細工をしたりしました。小使室で煮る豆のほひが年中匂つてゐて、お晝頃になるさいよ〜お腹の蟲を騒がせたやうに記憶して居ります。

先週の倉橋先生の御講義で、昔は豆細工をしたま伺つた時、私はふつとあの懐しい匂ひを思ひ出しました。豆細工はみんな物を拵へたか忘れてしまひましたが私は日の丸の旗ばかりつくつていたやうに思ひます。それをお土産にして家にもつてかへる途中でふりまはして遊ぶので大抵、壞れてしまつて、ヒゴだけを名残に持つて歸りました。折紙もいろ〜と習ひました。先生が學校のやうに一段高い所で四角の十二、三種四方位の折紙を持つて、皆さん今日は鶴を折りませう、さあこうして裏の方に折るのですよ、表と裏が分りませんか眞赤なのが表ですよ、裏はこつち、等々先生がお教へになる、私達はその眞似をして行くがなかく難

しい、中頃ではもうめちくちやになつてしまふ子がある、先生はお一人でなかく大變らしかつた。

そして出來た鶴はつないでお室の隅につるしておいであつた、又お室の天井から四隅にきれいな折紙の花がつかないでつるしてありました。

これ位しか思ひ出されません。あの當時の幼稚園の様子をあらはす事が出來ないのを遺憾に存じます。C 子

隅田川に近い幼稚園に就學前の二年間を過しましたが、年中休んで居たのではないのかしらと思ふほど、この時代の記憶は少ししか無い。

おばあさんであつた園長さんのお顔は全く記憶して居りませんが、お子様である若先生はよく覚えて居ります。お姉さまの先生は、上野の音樂學校を出た方で、ピアノの前のお姿を思ひ出します。今園兒の歌ふ童謡の中には、昔ならつた唱歌がぼつ〜あるので、なつかしく思ひます。妹さんの先生は女高師附屬高女を出た方で、朗らかな方で、遊戯を教へて戴いたりよく遊んで戴きました。園兒は全部で三十人位で、お室は廣い遊戯室と六疊の小室があるだけで、遊戯室でお食事を戴きお話を伺ひ、遊戯をし、……何でもこゝで、致しました。庭には砂場、箱プランコ、すべり臺がありました。砂場ではよく遊んだらしく、冬になつ

てこゝで遊べなくなるので早く暖かくなればいゝ春の來るのを待つたのを覚えて居ります。ブランコは下が箱になつてゐるので漕ぎにくく、高く上らないのでつまらなく思ひました、その外、かごめく、坊さんく、さくらく、さかして遊びました。さんなお仕事をしたか、僅かに折紙をした事ぐらひを覚えて居るくらひで、後に妹の通つた牛込の或幼稚園にはお道具箱やむづかしい園歌があつて毎朝歌ふき聞いて、驚いた位ですから、大した事は、しなかつたと思ひます。一番記憶に残つてゐるのは、或雨の日、お迎がなか／＼來ず、先生方は、「もうすぐいらつしやいますからおさなしく待つていらつしやい、さか云ひながらお掃除を始められる、床がすつかり、きれいにふかれても未だ來ない、だん／＼悲しくなつて、わーわ泣き出したので、先生はバナナや、お菓子でなだめようさなかつた事でその日歸つてから、もう幼稚園には行かないささん／＼すねたのを覚えて居ります。又卒業式の日一人づつ卒業證書を取りに行くのが、とても心配で、胸がドキ／＼した事は、一番氣をつかつた思ひ出だらうと思ひます。 D 子

幼稚園に行つてゐたあの可愛らしきいさけなき兒であつた私も、一昔さいふ長い年月が經つ共此のいさにもにくらしき大いなる人間になつてしまつた。

過去の一番の間頭にいろんな事をつめ込み／＼して來たので、幼稚園時代の事は最早頭の隅の方に押込められてしまつて確かな事は記憶してゐない。唯ぼんやりと自分の腦裏に残つてゐる事を述べて見たいと思ふ。

G 縣 O 市にあつた M ミッションさいふ名前のミッションの幼稚園であつた。

園長先生は Y さ云ふフランス人の女の方で背の高い優しさうな素的な先生だつた記憶してゐる。

園兒の数は約三十人で嫁母は三人だつた。朝さお歸りの時刻はこゝの幼稚園と同じ頃だつた。家から幼稚園迄は近かつたしお憐の方さ何時も御一緒だつたので送り迎へは別にしなかつたさうである。バスケットにはお辨當の他にお八つを持つて行つた様に憶えてゐる。

私の一番嬉しかつた事は、公園だつたか野原だつたか散歩の様な遠足に行く時だつた。又お遊戯室等なかつたのでお庭にオルガンを出してそのまはりに集つてお唱歌やお遊戯をした。私はお唱歌が大好だつたらしい。

『お人形』や『日の丸』の歌等獨唱した様だ。

私は保育科に入る迄は幼稚園では今述べた事がお遊びであつて、お室で豆細工のブランコをつくつたりお人形をつくつたり折紙で鶴や奴さんを折り又ぬり繪をしたり繪をかいたりする事がお勉強だと思つてゐた、だから一人で出來

たのかしらと思はれる様な細工物を手に持つてお家へ歸るのがとても誇だった。

私は大きくなつてからも幼稚園いふとすぐ豆細工の豆を嫁母が煮てるのを聯想してたものだつた。そして幼稚園いふ處はいろ／＼細工を教へてくれるから小學校へ上つた時隨分樂でいゝと思つた。

そしてたゞ遊ばせておくのはよい幼稚園ぢやない等いつて小學校へ行つてからも幼稚園で教はつた事を自慢し合つたが豈はからんや、此の保育科で學んだ幼稚園の目的なるものをよく／＼考へて見るぞ、我々の自慢してゐた幼稚園は大分餘計な事を教へてくれたのだと思ふと共に今更の様にあの目的に實によく叶つてゐる此の女高師附屬幼稚園の園児を羨しく思ひ且つ責任の重い事を身に感ずるのである。

E 子

私は七歳になつてS幼稚園を云ふ教會に行つた。園長さんは名だけはK女史であつたが、めつたに來られず、クリスマス等の時、日曜學校へいらつしやるだけだつた様だ。入園したてはどんな氣持だつたか覺えがないが、一つ年下の子が來るのをいやがつて泣いたり逃げ出したり、したのを、おかしく、又不思議に思つた事をおぼへてゐる。

机は三種平方位の細いごばんの目で、其の上でやはり、

紙、切折紙、豆細工、粘土細工、きびがら細工、ぬりえなごをした。

お教室は、何歳からも一緒で、こゝのお遊戯室より廣い様な所で正面に舞臺があり、その部屋で、机を出したりかたづけたりして、お細工も、お遊戯もした。先生は女の先生お二人だつた。嬉しかつた事、いやだつた事さいつてははつきり覺えていない。

たゞ舌切雀のお遊戯のお爺さんが上手でいつも杖ついてお爺さんになつていたのを覺えてゐる。積木をつんでおすべりをつくつたりしたのもなつかしい。

あやまりがはやつて、お友達にならつたりして上手になつた。

近くに同じ名のT子さん云ふ子がいて始終一緒に遊んだ。お友達の家はこのT子さんさもう一人Mさんいふ子の家へいつた事があるが、大ていはT子さんさ遊んだ。

四つの年から來ていた子がゐて、ミてもお遊戯が上手で羨しかつた。そして私も四つ位から來ればよかつたと思つた事もあつた。

たつた一度男の子を泣かして困つた事があつた。

御節句や七夕様等したがやはり、教會だけにクリスマスが一番盛であつた。お遊戯したり、先生のお話を伺つたりして歸りにはお菓子やみかん、女の子は羽根、男の子はた

こなきもらつて歸つた。

オルガンだつたけれど、幼稚園では讚美歌も習はず、御祈もあまりしなかつた様だつた。でもエス様のお歌や、お話をよくした。今の様にバスケットをさげて行つたが家より近かつたのでなれてからは一人で通つた。幼稚園時代は普通に過した様だつたが、小學校へ入る迄、或幼稚園から來た人に壓倒され、いぢめられて始終泣いてゐる。幼稚園へ行つてゐたから、小學校になつても割に平氣であつた様だつたけれど。

今考へるご家にて、いきなり規則正しい小學校へ入るより、やはり、自由な中にも、共同生活のある、幼稚園へ行つた方が小學校へ入つて精神的にも健康上にも樂なのではないかと思ふ。

家の弟は末つ子の甘つたれで、自分の家しか社會をしらないで、はじめは幼稚園に行くのをいやがつてゐた。末つ子や一人子の自分と同じ年位の社會をしらない人や、一人天下の子は、殊に幼稚園へいつた方がよいと思ふ。はじめはいやがつてゐてもだんく其内にはなれてゆく様だ。F子

1、粗末な建物を第一に思ひ出します。

2、幼稚園のお花畑には眞赤なけしの花の澤山咲いてゐた。

3、楽しい遊びとしては、お砂場で、お山をこしらへたこと。

(水を入れて砂をかたくして、木の器に砂を入れて形を抜き出してお饅頭屋さんをして遊んだこと。ぶらんこ、本校に遊びに行つたこと。ぬりぬり、お急かき(特にぬりぬりは好きでした)。お遊戯の後にするスキップ。粘土。

4、ばあやによく叱られたので怖い人だと思つてゐたこと。でも私がいつか鼻血を出してしまつた時洋服のよれをすぐに洗つてきつてくれました。

5、この頃ではお友達同志の呼び合ふのを聴いてゐるこ、「花子さん」、「太郎さん」名前前で呼んでゐる様ですが、

私達はさうだつたでせう。時々卒業の時の寫真を見るに姓名が一緒に思ひ出される所を見るに、姓名を言つて呼び合つてゐたのではなかつたかと思ひます。「イチシマトシチちゃん」さか「サノヨシコさん」。さか言ふ風に。

6、私の組の時の先生はH先生でした。保育實習科からいらつしやつた方ではS先生さ言ふ方だけを覚えてゐます。

7、豆細工、南京豆つなぎ等は私達の時にはあまりしなかつたから一寸も覚えて居りません。

8、三月三日のお節句の時にはみんなで菱餅を頂いたこと。

9、實習科の先生にクローヴァで首飾りをこしらへて頂い

たこも。本校に行つて随分クローヴァのお花をつみました。クローヴァのお花の臭をかぐ時何時も「幼稚園の臭ひがする」と言ふのです。

お遊戯の中で好きだったものは

雀の子、桃太郎さん、凧、水兵、飛行機、木の葉。もう忘れてゐたおうたでもお習ひしたものはまた思ひ出されて、何ミも言はれぬなつかしい氣が致します。又お遊戯等も私の頃のみ同じのが續けられてゐるのを見るに本當に嬉しう御座います。

G 子

私はSのN幼稚園に行つて居ました。

今思つて一番嬉しかつた事は、繪本が澤山バスケットに入つていた事ミ、お庭にはお船の型のシーソー、ロクボク、ジャンプロープがあつて自由にそれ等を使つて遊べた事、それからお歸りの時に先生から握手ミ頭をなせていたゞく事でした。

いやだつた事は、折り紙の時でぶきつちよな私は少しも上手に出来ず、折り紙の時間が苦痛の種でした。

園長先生が大變太つた恐ろしい方だつたので、子供心にも「こはい」ミ感じたのでせうか、見つからない様に、にげまはつてばかりゐました。もうづい分昔の事ですので、後の事はよく記憶にございませぬ。

H 子

園長先生は、N先生といふ牧師さんでした。保母さんは、そのN先生のお嬢様ミT先生といふ、お若いミても綺麗でお優しい先生だつたことを覚えてゐます。他に外人の女の方でお名前は忘れてしまひましたが、その方がいらつしやいました。殆ど毎日の如く来ていらつしやいました。ミても可愛がつて下さつたことを覚えております。幼稚園に行き、みんな自分の椅子を両手でちやんミ前に持つて、お部屋をピアノに合せてグル／＼まわるのでした。部屋は大きい部屋が一つでそこに私共園児三十人ばかりがおりました。

お庭がミても綺麗で、お花畑や花壇なぎがいくつもありません。椅子をもつてまわるのが自分で自分のところに行くミ、その椅子に腰かけて、みんなで朝のお祈りをしました。キリスト教の幼稚園でしたから、他のミは少し異つてゐたやうです。それから讚美歌を唄ひます。歌は大抵讚美歌でした。そして、繪を書いたり、はり繪をしたりしました。丁度、この幼稚園のやうな畫用紙がミちてあつて、ノートのやうになつてゐました。

豆細工などは少しも覚えてゐません。やらなかつたやうな氣がします。先生ミ一緒になつてよく遊びました。外人の先生がミてもおもしろくて私達はその先生がいらつしやるミ、ミても喜こんだものでした。お畫になるミ手をあら

つて、お机に付き、お祈りをいたします。

「アーメン」はよくおもしろ半分に云つたものでした。式の日等はN先生が眞黒な僧服のやうなものを着ていらして、讚美歌を唄ひ、子供心にも随分壯嚴なものだと思つてみました。時々學藝會さいふか、何んさいふのか歌を唄つたり、遊戯をしたりしてお母様方にお見せしました。そして母の講座さいふものが時々あつて、私達のお辨當のおかずや、お菓子等の作り方等の講座がよくありました。その時は外人の先生がなさいました。これ位しか覚えておりませんが、とても楽しい幼稚園でした。

I 子

私の家が父の轉任でN縣K町へ行つて間もない頃、私はお唱歌とお遊戯がとても好きだつたので、幼稚園や園長さんのお名前は忘れましたが、近くのお寺の境内にある、幼稚園へ入れてもらひました。中途から入つたので何にもわからず、皆のするお唱歌やお遊戯は私の知らないものばかりだつたので初めの二三日はとても厭でした。

殊に土地の子供達ミ言語が違ふので心細い氣持でいつばいでした。ですから今でも、長くお休みして居たお子さんの心細さが良くわかる様な氣がします。

又、『何て意地悪そうな強そうな子の澤山ある所なんだろう』と恐くて仕方ありませんでしたが、お唱歌やお遊戯がし

たい爲に一日もお休みしないで通ひました。

I先生、S先生、C先生さかおつしやつた三人の先生は、私をとても可愛がつて下さいました。そしてよく私だけを先生方のお室へつれて行つて、リ、アンを下さつたり、お人形を見せて下さつたりしました。するさ男の子達が入りたがつて戸をギュー／＼押すさ中から先生が押へたりして本當に私許りこんな所へ来てよいのかしらさ心配でした。或る時お庭で四組位に分れて、輪くゞり競争をさせられました。私に私に厭だミ言つて泣きました。出来ないからさ言ふより何ミはなしにするのが厭で堪らなかつたのです。

ですから今ラヂオ體操をするのを厭だミ云つて、さうしてもしない子も、あの時の私と同じ様な、言ふに言はれぬ氣持で居るのではないかしら、ミ時々思ひます。それから圖畫の時は、『先生が下圖をさつてあげるからお待ちなさい。貴女は何を書きたいの？』と聞いて廻ります。その番の來るまでおさなく待つてゐるのです。そして番が來るさ自分の書きたいものを言ふさ下圖して下さいました。上手に出來ていゝと思つたこともありましたが自分の書きたいものを言ひ表すのに骨が折れました。

豆細工、貼紙等は先生のやつて見せる通りのものを作り或る物を觀察して思ひの儘やるのではありませんでした。

又お辨當をお晝にお家から届けてもらう時なご少し後れ

たりするに、先生が柱の所へ行つて「チリ、チリ、モシ、モシ」何々ちゃんがお辨當を待つて居ますから早く届けて下さい」と電話の眞似をなさいます。いつもすぐ届くので本當に不思議でした。

又、齒が痛くなるに、先生が梅ぼしをつけて下さいますので私は、齒がいたくなればいゝなご何度も思ひました。斯様にして、されくらひだつたか忘れましたが、ほんの少し通ひました。

今でも子供達がやつてるお唱歌や遊戯の中に私の幼稚園時代にお習ひしたのがあるに、あの頃を思ひ出して、懐しく又寂しく思ひます。

J 子

私の家から約半丁の所に幼稚園がある。

そのK幼稚園には、太つた金齒をすらつて並べた世話役のお婆さん、園長先生である所のO牧師、先生が二人許り居た。始業時間等、きつちり定つていて、朝禮の代りに「お早う先生御機嫌いか、おはよ皆さま、ごきげんいかが」といふ歌をうたつたらしい記憶がある。その歌はその後も幼稚園から聞えてくるので、はつきりおぼえている。

それがすむと小さい組と大きい組に分れて疊敷きのお部屋へ入り先生のお話をきいたり、貼り紙をしたりする。そしておやすみ時間にはお庭へ出て、ブランコにお砂場あそ

びに、すべり臺のざれかをするのである。

貼り紙もいつても、折り紙でやるのではなく、あのつや／＼した色紙で丸や三角やおしりや蝶々やサクテなごに切りぬいてあるのがあたへられ、適當な所に適當なものをはりつけて足りない所はクレイオンで補ふのである。生來不器用な私は時々その奇抜な畫帳を出してみてはおかしく吹き出してしまふのであつたが何かのはづみにそれをなくなしてしまつた。

私が女高師の幼稚園を見て先づ驚いたのは時間的制限を受けていない事である。確かに遊戯の連続を行つている。私は幼稚園に於て學校的訓練をうけて來た。その束縛のない事である。程度の低い設備の整はぬ幼稚園をみなれて來た私は、すつかり女高師の幼稚園に満足してしまつた。之丈の事を漸く思ひ出したが實際私は幼い頃の事をすつかりわすれてしまつたのである。

今まで述べた事も、私が何かの拍子に想像したつくり事ではないか疑つてみたのであるが、確かに幼稚園へ行つたきみえて、家の門の上でエプロンをかけバックネットを持つた寫眞もあるし幼稚園の卒業寫眞もあるのである。

之以上思ひ出さうと努力をするに現在K幼稚園で行はれて居る事が遠い昔の思ひ出のやうな氣がして頭に浮んでくるのである。

K 子